



2012年3月19日

報道関係者各位

東京都港区赤坂 4-1-31 アカネビル 5階
株式会社パシフィカ・キャピタル

世界有数の議決権行使アドバイザー会社が 片倉工業に対する弊社株主提案に賛同推奨

世界有数の、機関投資家向け株主議決権アドバイザー企業の ISS Proxy Advisory Services 社（以下「ISS 社」）は、株式会社パシフィカ・キャピタル（本社：港区）代表セス・サルキンを、片倉工業株式会社（東証一部：3001）の社外取締役を選任する議案に対し、賛同推奨をしていることが明らかになりました。

来たる 3 月 29 日付の片倉工業の株主総会に向けて、今月 14 日付の ISS 社の報告書では、「不動産の専門家であるサルキンの社外取締役就任は、現経営陣に対して懐疑的ではあるが、革新的な意見を投げかけることになる」ことを理由に、賛同を推奨しています。

パシフィカ・キャピタルは、本年 1 月 30 日に、片倉工業に対してサルキンを社外取締役を選任する旨を株主提案しています。この提案は、片倉工業にとって、1949 年の上場以来、初の株主提案とのことです。同案では、現在社外取締役は片倉工業とつながりの深い金融機関出身の人物である中で、中立的な立場である不動産専門家であるサルキンが社外取締役に就任することにより、片倉工業の将来を大きく左右するさいたま新都心開発を迅速に且つ効率的に進めることができることを主張しています。

一方、片倉工業は、本年 2 月 17 日付で、サルキンの社外取締役就任に対して、すでに 2 名の社外取締役がいる上、不動産の専門家も十分にいるという理由から、鳥島役会が反対の意向を表明しています。

サルキンの社外取締役就任議案に対する片倉工業取締役会の反対表明に対して、ISS 社は 3 月 14 日付の報告書で、次のように述べています。「サルキンの批判に対して、片倉工業は十分な反論を示せておらず、また彼の議論に対して異議を唱えられていない。サルキンは、建設的な提案・意見を提示しており、少なくとも現取締役会ではこれらについて真剣に議論をすべきである、」

片倉工業の現在の「社外」取締役が、株主の権利を守るために十分かどうかについては、ISS 社は次のように述べています。「同社が、メインバンクと一切関係のない社外取締役がすでにいるのであれば、現経営陣がサルキンの社外取締役選任に対して反対することに信頼性はあるだろう。」現在、2 名の「社外」取締役は、片倉工業のそれぞれ 1 番、3 番のメインバンクである株式会社八十二銀行および農林中央金庫の出身です。

###

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社パシフィカ・キャピタル代表取締役 セス・サルキン

電話：03-5549-9033 FAX:03-5549-9031

E-Mail:info@pacific-cap.com

株式会社パシフィカ・キャピタル

Pacifica Capital K.K.

<http://www.pacific-cap.com>

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-1-31, アカネビル 5 階

Akane Bldg. 5F 4-1-31, Akasaka, Minato-ku Tokyo 107-0052 Japan

TEL 03-5549-9033 / Fax 03-5549-9031